2026 年 11 月 6 日
マツダロジスティクス株式会社

マツダ KD センターの竣工について

―海外生産拠点の部品供給を支える新たな物流拠点が広島港出島地区に完成―

11 月 6 日、マツダ株式会社が広島港出島地区（広島市南区）に建設を進めていた「マツダ KD センター」が竣工し、式典を執り行いました。マツダ KD センターは、マツダのすべての海外生産拠点向けに、KD(Knock Down)部品(海外の生産拠点で車両を組み立てるための部品）を供給する物流拠点として、部品の集荷、保管、荷造り、海上輸送コンテナへの積み込みなどを行います。広島と世界の生産拠点を物流でつなぎ、マツダのグローバル生産を支える重要な役割を担います。



マツダ KD センター

新センターは、これまで海田地区(安芸郡坂町)にあった KD センターを広島港出島地区へ移転するものです。出島地区では、国や広島県による国際海上コンテナターミナルの整備が進められており、船舶の大型化への対応など港湾機能の強化が図られています。新センターでは、こうした港湾機能を活用することで、海外生産拠点への部品供給のさらなる効率化と安定化を図ります。

また、新センターでは、物流の効率化と、物流に携わる人の安全性や働きやすさの向上を図っています。部品の保管や取り出し、パレット荷造りなどの工程に自動化設備を導入し省人化を図るとともに、歩行者と車両の動線を分離し、施設内にはエリア空調を導入することで、作業者が安全快適に作業できる環境が整えられています。さらに、サプライヤーから部品を運ぶトラックの入場を効率的に管理する仕組みの導入や、専任者によるフォークリフトでの荷下ろしにより、作業時間の短縮とトラックドライバーの荷役負担の軽減を図っています。加えて、荷下ろし中に利用できるドライバー向けの休憩室も設置しています。施設の屋根には太陽光パネルが設置され、施設内で使用する電力の一部を賄うなど、環境への配慮も進められています。

当社はマツダ株式会社とともに、今後も物流の効率化と安定供給の実現に取り組むとともに、人に配慮した物流環境づくりを推進してまいります。そして、これまで 100 年にわたり培ってきた信頼をこれからも未来へつなぎ、お客様へ価値ある物流サービスを提供してまいります。

■ マツダ KD センター概要

所在地	広島港出島地区（広島市南区）
敷地面積	約 55,000m^2（約 5.5ha）
建築面積	約 35,000m^2
着工	2025 年 4 月
竣工	2026 年 11 月
稼働開始	2027 年 1 月（予定）
主な機能	海外生産用部品の集荷、保管、荷造り、出荷